

令和7年度 学校評価について

船橋市立習志野台第二小学校

1 はじめに

今回、多くの保護者の方から学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。

アンケート内容は、各項目4段階（4：そう思う 3：どちらかと言えばそう思う 2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない）で回答していただきました。そこで、肯定的評価（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」）が90%以上の項目は「できている」、90%未満の項目は本校の課題としてとらえています。

2 保護者の評価から

(1) 90%以上の項目

全24項目の内20項目で肯定的評価（90%以上）をいただいております。

(2) 90%未満の項目

- ①No. 7 88.0% 「習二小の学習環境・設備は、よく整っている」
- ②No. 10 83.0% 「習二小は清掃がゆきとどき、良い環境で生活している」
- ③No. 12 85.4% 「習二小の通知表はわかりやすい」
- ④No. 22 87.8% 「習二小の児童たちは英語科の授業に意欲的に参加している。」

※4項目とも昨年度も90%未満の項目になりますが、昨年度よりも肯定的評価が増えております。

(3) 90%未満の項目への対応

- ①については、引き続き日頃から教室の整理整頓を心がけ、学習に集中できるように努めます。また、意見として校舎の老朽化によるご心配をいただいております。市教育委員会へ状況を常に伝えながら、改善を図っていきたいと思えます。校舎の修繕等でご迷惑をおかけすることもあるかと思えますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。
- ②については、次年度も引き続き校舎内外において、児童と教職員がともに清掃に努め、きれいな学校を目指します。①同様、施設の老朽化に伴う個所については、市教育委員会へ報告を上げ、できる限りの修繕等を行って環境整備をします。
- ③については、評価項目の表現を見直し、具体的にどのような力を評価したのかをわかりやすくします。児童の学力の状況や学校での様子につきましては、通知表だけでなく、面談等でもより保護者の方に伝えることができるよう工夫します。
- ④については、引き続き英語教育の充実のため、授業の内容の精選につとめ、教師の授業力の向上に向けて研修を行います。ALTとの連携に努めます。

(4) 自由記述への対応

【学校行事について】

行事の実施時期や内容については、引き続き最善のものとなるように調整いたします。運動会については練習時間、保護者の皆様の負担等を考えて、現在のところ来年度も、半日開催を予定しています。また、実施する競技内容につきましては最善のものを来年度も検討し、児童への負担を考慮し充実した運動会となるようにします。

【教育課程について】

学習指導要領に沿って計画された教育課程をもとに、引き続き適切に実施していきます。道徳の授業等を充実させることにより、いじめ等も含め、心の教育の充実に努めます。

【教職員について】

先生方の力量を向上させたいと考えています。児童への生徒指導の対応等についても、前向きになれる声掛けや、問題解決を図ります。先生方の児童への対応についての学びを深め、児童に寄り添う教職員であるようにします。また、複数の教職員で情報を共有し、児童の良さをより引き出せるよう努めます。

【教育相談に関すること】

児童との面談やアンケートを大切に聞き取りを確実にし、スクールカウンセラーとも連携を図って取り組みます。相談機関も複数ありますので、保護者の方にもわかりやすいご案内ができるよう努めていきます。

【施設に関すること】

老朽化や街灯の設置等、市教育委員会へ状況を常に伝えながら、改善を図っていきたいと思います。

【学校からの情報に関すること】

学級閉鎖等の情報は該当する学級以外にも安心メールにて情報を共有していきます。今後の状況にもよりますが、メールの件数が増える可能性もありますがご容赦ください。

3 教職員の評価から

(1) 課題

- ① 「地域の特色(住環境・産業等)や人材を活用した教育課程になっていたか」
- ② 「TT・グループなど少人数指導の工夫改善はなされたか」
- ③ 「正課時体育では「体ほぐし」や「5分間走」などを取り入れ、充実が図れたか」
- ④ 「児童の発達段階を考慮し、主体的な校外学習・宿泊学習を実施できたか」
- ⑤ 「教育相談等、悩みを抱えた児童の相談窓口は充実していたか」
- ⑥ 「問題を抱えた児童の指導体制は確立されていたか」
- ⑦ 「学校職員として地域の人やPTAと協力していたか」
- ⑧ 「校外の研修会や研究会へ積極的に参加したか」

(2) 取り組み

- ①については、各学年によってバラつきが見られたので、年1回は外部の人材を教室に招いての学習や見学、交流の学習を教育活動に取り入れるよう務める。人材の確保については、教育委員会等から提供される外部機関との連携を積極的に図りたいと思います。
- ②については、3年生で実施し、個別指導の時間を増やすことができました。今後も学年・教科・単元を吟味し、工夫改善に努めたいと思います。

- ③については、学年の発達段階に応じた活動ができるよう、学校全体で情報を共有し、進めていきたいと思ひます。
- ④については、学年の実態に合わせ、充実した校外学習が行えるよう、既存のルートにとらわれることなく、検討し、実施していきまひす。
- ⑤については、教職員、スクールカウンセラー等への相談がよりしやすくなるよう、仕組みを整えていきまひす。
- ⑥については、個に応じた指導ができるようより充実した校内体制づくりを進めまひす。児童への支援は校内教育支援センター(LaLa ルーム)やスクールカウンセラーなどと連携しながら進めていきまひす。
- ⑦については、PTA や学校運営協議会と連携し、できる限り協力できる仕組みを整えていきたいと思ひます。
- ⑧については、研修の機会が減ったり、受講形態が変化したりする中ですが、できる限り参加しやすい組織づくりを進めまひす。また、校内でも研修会を充実し、自己研鑽に努めたいと思ひます。

4 学校関係者評価から

- ・学校評価は「よくできている」の評価が多いことから教育活動の成果がうかがえる。ここ数年、高い評価が得られているので、次のステージを目指す段階になっているのではないか。
- ・学校評価を次年度に生かすことが大切。保護者にもどのような観点で評価をしてほしいかを示すのも一つ。
- ・スクールカウンセラーの活用や教育相談等他と比べると低い項目に関しては、一層の活用の充実を検討する必要がある。
- ・集団行動については、文部科学省の資料を参考にすると良い。その場だけでなく日頃の指導が大切。
- ・児童の評価で「自分の意見発表」が低い。これは子供たちが「自分の意見をもっと言わないといけない」「もっと話したい」という声の表れとも捉えられる。この点は授業の工夫のしがいのあるところではないか。
- ・情報はその取り扱い方が大切。生成A Iの活用に関してはまずは職員がしっかりと研修することが重要。生成A Iを活用することが、子供たちの考える場を奪わないようにしてほしい。
- ・生成A Iは便利だが、情報が一人歩きすることもある。正しい情報、根拠を調べるためにも図書館を活用してほしい。
- ・先生方はよく取り組んでいる。更に教職員の指導力向上を目指して欲しい。
- ・I C T機器の積極的な活用が効果的な学習につながっている。指導する教員の能力、活用する児童の能力ともに成果が出ている。に
- ・清掃は行き届いているが、校舎や設備の老朽化により修繕が必要な箇所がある。学校だけでなく、学校運営協議会等、一市民としての声を届けることも大切。
- ・外部人材の活用には課題があるが、改善が難しい部分でもある。保護者だけでなく、祖父母等に声をかけると協力が得られることもある。図書館も学校と連携できることがあるので、活用してほしい。

学校関係者評価では、おおむねどの項目についても肯定的な評価をいただきました。今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

5 来年度に向けて

学習面では、No. 1、4、5ともに保護者の皆さまから昨年度同様に高い評価を得ております。今後も保護者の皆さまの信頼を得られるよう、授業実践に取り組んでまいります。また、教職員の研修にも努めてまいります。

本年度は、予定していた学校行事を時期の変更は一部あったもののすべて実施することができました。内容の精選や実施時期を再度検討し、より充実した行事運営を行っていきます。今後も、その様子などをホームページやブログ等でお知らせしていきたいと思っております。

自由記述欄には、教職員に対する励ましや温かいお言葉をたくさんいただき大変感謝しております。子供たちにとって充実した教育活動が行えるようにしていきたいと思っております。

今後も、ご理解・ご協力をお願いすると共に、何かご意見がございましたら、いつでもご連絡いただければありがたいです。よろしく願いいたします。